

～6人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

9月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	小中学校の特別教室へ冷房機を設置する考えは	13
佐藤 定男	公用車は原則、軽自動車にすべきでは	14
	図書室の利用者の増加策は	
村上 一	オリンピックを契機に農産物を販路拡大する考えは	15
松浦 和子	「ファミリー・サポート・センター」設置への考えは	16
	家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」に取り組む考えは	
村上 正勝	大雨被害に備え河川改修の要望をすべきでは	17
浅野 富男	農業の発展のため町が取り組めることは	18
	人口減少に伴い水道料金は改定されるのか	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

Q 小中学校の特別教室へ冷房機を設置する考えは

A 設置する方向で検討していく

問

原発事故による放射線から児童生徒を守るために、平成23年度に、町内の小中学校の教室に冷房機が設置された。

しかし、設置されたのは普通教室と図書室のみで、音楽室、図工室、理科室、家庭科室、集会室などの特別教室へは設置されていない

い。気温が高い5月から9月までの間に特別室を使う授業は、小学校では、374時間、中学校では、734時間である。このように特別教室を使う授業は決して少なくない。

なぜ特別教室へ冷房機を設置していないのか。

教育次長

限られた予算の中で、まず子どもたちの安全安心の確保のため、最も学習する時間が長い普通教室を優先的に整備したものである。

問

普通教室に冷房機を設置してから6年が経過している。特別教室へなげもっと早く設置できなかったのか。

教育次長

中学校の放送機器が故障し更新せざるを得ない状態であったことや、中学校の校舎の外壁が、経年劣化や東日本大震災の影響により剥落して危険な状態にあった

め、大規模な補修工事をして、安全な校舎にすることが必要であった。これらの工事などを優先しなければならなかったために冷房機を設置する財源が確保できなかったことによるものである。

問

地球温暖化が進んでいるためか、今年は、5月から例年よりも暑い日が多く、6月の梅雨の時期も雨がほとんど降らず、高温の日が多かった。7月から8月にかけては、日本各地で35度を超える猛暑の日数が記録を更新した地域が多かった。さらに、身体に危険な40度を超える地域もあった。

児童生徒は、特別教室では、30度以上の暑い中で授業を受けている。大人よりも体力が劣り、熱中症にもかかりやすい。



夏は扇風機を使用する国見小学校3階の音楽室

児童生徒を熱中症から守るためにも、できるだけ早く、特別教室へ冷房機を設置すべきと考えるのがいかがか。

教育長

今年度の猛暑の状況を踏まえ、国からも、各学校に対する冷房機の設置を早急に進めるとの方針が出ている。

教育委員会としても、特別教室へ冷房機を設置し、子どもたちの学習環境を整備していきたいと考えており、国や県に対し特別教室への空調設備に対して財政支援を要請するなど努力している。



松浦常雄議員